

## 事業者向

## 放課後等デイサービス自己評価表

令和元年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切かどうか	14	1	0	制作、学習、個室等の場面ごとの空間を設けて利用児童が落ち着いて過ごせる環境作りを行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	10	5	0	利用者人数に対する配置基準は、満たすように職員を配置しています。また、イベント、保護者会等の際は、人員を多く配置し、安心と安全に配慮している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	5	0	設備にスロープ、エレベーターがあり、段差もないため車いすやバギーの利用児もスムーズに入室することができる。
業務改善	④	業務改善を進められるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	9	0	全体ミーティングを月に1回実施しており、業務改善と会議の場を設けている。PDCAについての研修を検討していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	7	0	アンケート結果を事務所に掲示し、職員への周知を徹底する。また、改善可能である事項は、全体ミーティングを活用して検討していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	7	0	糸島市社会福祉協議会のホームページより閲覧することができる。職員、保護者に対しても閲覧できることのお知らせしていく。
	⑦	第三者による外部評価を行うために、評価結果を業務改善につなげているか	6	8	1	年に2回、第三者委員会において苦情、事故等の報告を行い、業務改善していく。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	8	0	虐待、強度行動障害、発達支援に関する研修会に参加し伝達講習を実施している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	6	0	保護者からの聞き取り、行動から評価し、支援と再評価を行い支援計画を立案している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	8	3	2018年度に太田ステージ、フロスティック視知覚発達検査、2019年度よりVineland-II 適応行動尺度を導入した。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	3	0	月に1回、支援会議を行い、支援の目標、方法の会議を実施している。必要に応じて随時、会議を追加するようにしている。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	10	5	0	遊び、学習、制作、調理、屋外レク、就労体験、地域の行事や外部の運動大会に積極的に参加している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	5	0	支援ができる時間に応じて課題の目標や量を検討している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービスを計画を作成しているか	9	6	0	年齢、学年、利用者の状況に応じて個別活動と集団活動を実施している。
	⑮	支援計画前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われている支援の内容や役割分担について確認しているか	11	4	0	朝礼と昼礼で支援の変更内容や方法、児童の様子などの申し送りを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	9	2	送迎業務で支援員が事業所に戻る時間と退社時間が異なるため記録の徹底とその翌日の朝礼と昼礼での報告を徹底している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	2	0	支援記録に目標に対する支援内容を中心に記載するように取り組んでいる。モニタリング前や児童に変化が出た際は、記録を振り返り計画変更等を実施している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12	2	0	通所受給者証に記載されている期間にそって保護者と面談し、聞き取り調査と計画変更を検討していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	11	0	ガイドラインの基本活動に関する研修を実施していく。
	関係機関や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	7	0
㉑		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	4	0	学校より月間単位、週間単位で送迎時間の確認を行っている。また、必要に応じて保護者からも下校時間や注意事項を確認し、安全な引き渡しに努めていく。
㉒		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	11	2	現在、受け入れている児童はいないが、受け入れる場合は、体制を十分に考慮して決定していく。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	8	4	就学前に利用していた保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との情報共有、交換を当事業所利用開始前後で実施していく。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	7	6	今後、障害福祉サービス事業所の見学等を行い、関係と連携構築を図っていく。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	9	5	障害者支援センターへの研修申込み、伝達講習を実施している。今後も継続して研修への参加と伝達講習を行い、職員のスキルアップを図っていく。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	12	2	スポーツレクの参加や地域の祭りの参加を実施している。また、新たに地域の行事に参加できるように情報収集を実施している。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	10	0	自立支援協議会の研修、交流会に参加している。参加後は、職員への報告を実施していく。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	8	7	0	必要に応じて連絡帳、電話、口頭で状況の変化についてやり取りを実施している。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援をおこなっているか	4	10	1	必要に応じて事業所内相談を設け、個別の対応を実施している。
保護者への説明	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	5	1	契約書説明時に文面を確認し、説明を実施している。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	12	3	0	必要に応じて事業所内相談で個別面談と支援の方法を検討している。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	7	0	年に3回、保護者会を実施している。また、保護者間でコミュニケーションが図りやすいようにディスカッションや研修会を実施している。今後もアンケートをとり保護者間で話やすい環境作りを行っていく。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	7	0	苦情解決窓口、苦情解決責任者が設置されていること、第3者委員会が設置されていることを十分に説明していく。

明責任等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	9	1	保護者会やブログを使用して、活動報告を実施している。ブログに関して更新頻度を上げるように取り組んでいく。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	10	5	0	個人情報に関する書類は、事務所棚で施錠して管理を徹底している。また、写真等を使用する場合は、目的、使用後の対処方法を十分に説明し、了承を得る。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	7	0	絵カードを使用する、手紙を準備する、文面に色つけする等して円滑な伝達を図っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	7	3	農業体験等、近隣住民と協力した催しを検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	5	0	保護者会を利用して周知を図っていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	6	0	社会福祉協議会全体の避難訓練の参加と事業所内での避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	6	0	県で開催される虐待研修への参加し、参加した職員による伝達講習を実施して虐待の学習と意識の向上を図っていく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	8	1	身体拘束を必要とする場合は、支援会議で場面と方法を検討し、デイサービス計画書の変更と別紙で説明し了承を得るように徹底していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもにおいて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	12	0	食物アレルギーについて保護者からの聞き取り調査を徹底する。また、必要性がある場合は、医師の指示書に基づく対応を検討していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	5	0	全体会議を活用して月毎にヒヤリハットを共有している。第三者委員会でヒヤリハット事例集が作成されている事を職員に周知していく。